

寄贈図書リスト

Feynman Lectures of Gravitation

Richard P. Feynman, Fernands B. Morning, William G. Wagner, Addison Wesley, 教科書, 変形B 5 判, 232 p

ポピュラーサイエンス「巨大望遠鏡への道」

吉田正太郎, 裳華房 読み物, 新書版, 166 p,

1,300 円

'96 天文データノート

天文ガイド編集部, 誠文堂新光社, 資料集, 新書版, 351 p, 1,600 円

理科年表 平成 8 年 1996 年

国立天文台編, 丸善, 資料集, 変形B 6 判, 1043 p, 1,100 円

月報だより

人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

A-1. COE 研究員公募

1. 研究者若干名

下記の分野全体で若干名の COE 研究員を公募する。

2-4. 以下に募集する分野, 職務内容及び勤務地を掲げる。
宇宙電波分野: ミリ波干渉計用の超広帯域相関器の開発, 45 m ミリ波望遠鏡用の大型マルチビーム超伝導受信機の開発, 45 m 望遠鏡と干渉計を結ぶレインボウ計画などミリ波・サブミリ波観測性能の高度化プロジェクトに従事し, 電波天文分野における先進的な観測研究を推進する。勤務地は野辺山。

VLBI 分野: VSOP, 国内 VLBI 等のプロジェクトに従事し, 活動銀河核・星形成領域や星周領域のメーザー源などの観測・研究を推進する。勤務地は主として三鷹。すばるプロジェクト: 建設中の大型光学赤外線望遠鏡「すばる」のプロジェクトに従事し, 各種の技術開発・試験・観測・研究を推進する。勤務地は当面は三鷹あるいは岡山, 将来はハワイもあり得る。

一般分野; (以下の分野においてそれぞれのプロジェクトに従事しつつ研究を推進する。カッコ内はプロジェクト)。

データ解析計算センター (地上観測データを中心とした総合的天文データベースの構築); 勤務地は三鷹。

理論天文学 (大規模天文シミュレーション及び共同研究の推進等); 勤務地は三鷹。

太陽物物理学; («ようこう」衛星, 太陽フレア望遠鏡等); 勤務地は三鷹。

位置天文・天体力学 (重力レンズによる位置天文, 重力波関連の技術開発); 勤務地は三鷹。

地球回転 (地上 VLBI 統一計画, 月面 VLBI 等); 勤務地は水沢。

太陽電波 (電波ヘリオグラフ); 勤務地は野辺山。

5. (1) 決定後可能な限り早い時期

(2) 原則として 2 年

(特別の事情ある時は 1 年延長を可とする)

6. 博士の学位を取得または平成 8 年 3 月 31 日までに取得見込みのもので, 平成 8 年 4 月 1 日現在 35 歳未満のもの

7. 履歴書, 研究歴・研究業績概略, 論文リスト (共著の論文については本人の役割を明記のこと), 主要論文別刷, 研究計画 (希望の分野・プロジェクトを明記のこと), 推薦書 (あれば)。

8. 提出期限: 1996 年 3 月 8 日(金) (当日消印有効)

9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長 小平桂一

(2) 海部宣男

(国立天文台・三鷹, TEL 0422-34-3610)

10. 封筒に「COE 研究員応募書類」と朱書のこと。

別に公募する「国立天文台研究員」に, 併せて応募することは差し支えない。

11. その他: 非常勤講師としての待遇, 給与 (月額 30 万円程度) を供する。

A-2. 非常勤研究員公募

1. 研究者 (7 名程度)

2-4. 国立天文台において開発, 観測, 研究等に積極的に取り組み, 先進的な研究を推進する若手研究者を求める。以下に分野, 及び勤務地を掲げる。

□ 電波天文学分野 (2 名程度); 勤務地は野辺山。

□ 光学赤外線天文学分野 (2 名程度); 勤務地は当面は三鷹あるいは岡山, 将来ハワイもあり得る。

□ 一般分野 (1 名程度); 国立天文台の各分野においてそれぞれの研究を推進する。勤務地は分野による (詳しくは問い合わせのこと)。

□ 天文データ解析計算センター (2 名程度); 勤務地は

三鷹. スーパーコンピューターを用いたシミュレーション天文学の推進と共同利用補助. 天文データベースの構築.

5. (1) 決定後可能な限り早い時期.
(2) 原則として2年
6. 大学院修士課程修了または同等以上の学力を持つ者.
7. 履歴書, 研究歴・研究業務概略, 論文リスト (共著の論文については本人の役割を明記のこと), 主要論文別刷, 研究計画 (希望の分野・勤務地・受入れ教官名 (予定) を明記のこと), 推薦書 (あれば).
8. 提出期限: 1996年3月8日(金) (当日消印有効)
9. (1) 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台 台長 小平桂一
(2) 海部宣男
(国立天文台・三鷹, TEL0422-34-3610)
10. 封筒に「研究員応募書類」と朱書のこと.
別に公募する「国立天文台 COE 研究員」に, 併せて応募することは差し支えない.
11. 教務補佐員としての給与を支給する (詳細は上記に問い合わせのこと).

平成9年度理研基礎科学特別研究員公募

公募人員: 70名程度

受入機関: 理化学研究所

募集分野: 物理学, 化学, 生物科学, 医科学, 工学の各分野で, 理化学研究所で実施可能な研究.

応募資格: 1997年4月1日現在35歳未満の健康な者で, 博士またはこれと同等の研究能力を有すると認められる者. 日本に永住権を有さない外国人にあっては,
① 応募日現在で日本国に在住している者で, ② 日本国の大学院博士課程を修了し, 博士号を取得の者 (見込を含む).

待遇等: 詳細は下記に1996年5月22日(水)までに問合せのこと.

応募書類の頒布締切: 1996年5月22日(水)

公募締切: 1996年6月5日(水)

着任時期: 1997年4月1日

問合せ先: 〒351-01 埼玉県和光市広沢2-1

理化学研究所基礎科学特別研究員制度推進室

電話: 048-467-9268

E-mail: wakate@postman.riken.go.jp

京都大学理学部附属天文台教官公募

1. 助教授 1名
2. (1) 京都大学理学部附属飛騨天文台
(2) 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱 飛騨天文台
3. 観測天文学分野
4. (1) 天文学の観測的研究と観測装置の開発
(飛騨天文台には65cm屈折望遠鏡及び60cm

反射望遠鏡等がある)

- (2) 飛騨天文台の管理運営及び観測装置の保守活用を分担する
- (3) 京都大学大学院理学研究科において, 宇宙物理学・天文学分野の大学院教育を担当する
5. (1) 決定後, なるべく早い時期
7. (1) 略歴書, (2) 研究成果説明書 (これまでの研究成果の概要を説明したものに, 研究論文リストと主要論文別刷を添付すること), (3) 研究計画書
8. 平成8年4月1日(月)必着
9. (1), (2) 〒506-13 岐阜県吉城郡上宝村蔵柱
京都大学飛騨天文台 黒河宏企
電話: (0578) 6-2311
FAX: (0578) 6-2118
10. 封筒の表に「助教授応募書類在中」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい.

研究会・集案内

第7回 IAU アジア太平洋地域会議のお知らせ

すでに天文研連の委員への書面および tennet を通じて広報を致しましたが, 標記の会議が今年の夏に韓国で下記のように開催されます. この会議は, 中東, ハワイ, オーストラリアを含むアジア太平洋地域の天文学者が一堂に会して, 天文学の成果を発表し, 交流を深めるために3年に一度開かれるものです. 日本では, 1984年に京都で開催されました. その後, 北京(87年), シドニー(90年), ピュネ, インド(93年)と続いてきました.

この会議のファーストサーキュラーは, お近くの研連委員または tennet のアーカイブ (No.200) で入手できます. 発表論文の締め切りは5月31日です. 多くの方々の参加を期待します.

日時: 1996年8月19日(月)~8月23日(金)

場所: 釜山国立大学 (韓国)

日本学術会議天文学研究連絡委員会
委員長 尾崎洋二

第25回天文情報処理研究会

「データ解析の自動化と汎用化」開催のお知らせ

天文・天体物理各分野における技術進歩は, 膨大かつ多様なデータを産み出し始めている. 膨大なデータを処理するには解析の自動化が必要であり, 多様なデータを処理するには汎用化が必要である. しかしながら自動化を行なうためには装置やデータの特殊性を絶えず考慮せねばならず, 汎用化と両立させることは簡単ではない. 今回はデータ解析・アーカイブに伴うこれらの問題につい

て、まず各分野の現状（日本・世界）を、技術的内容を含め、できるだけ具体的にレビューしていただいた後、天文・天体物理における次世代のデータ解析システムの構築・統合に向けて波長横断的かつ具体的に議論していきたい。

日 時：1996年3月7日(木)8日(金)

場 所：東京大学理学部3号館311号室

世話人：土居 守・安田直樹・嶋作一大・岡村定矩

連絡先：TEL 03-3812-9224 Fax 03-3813-9439

E-mail：doi@astron.s.u.tokyo.ac.jp

共同利用・共同研究

平成8年度共同研究等の公募について

国立天文台における平成8年度共同研究等の公募を次のとおり行います。

1. 公募事項・内容

(1) 研究会・ワークショップ

国立天文台研究会及び同ワークショップ。(研究員等旅費及び必要な場合校費(印刷費等)を支給)

(2) 共同研究

国立天文台の教官と天文台外の研究者により特定の研究課題について共同で行われる研究。(研究員等旅費を支給)

本研究は、研究の形態により以下の3つに区分して募集します。

(研究区分)

- ① 少人数型：少人数・短期の場合
- ② 長期単独型：台外研究者が1人で、4泊5日以上滞在する場合
- ③ 多人数型：台外研究者が4人以上の、目的を明確にした共同研究の場合

(3) 共同開発研究

共同利用観測・共同利用実験に関わる新しい装置等の開発・製作、また、より基礎的開発研究についての共同研究。(校費を主とし、必要な場合研究員等旅費を支給)

本研究は天文観測研究のために有効な機器等(ソフトウェアも含みうる)の開発研究を促進することを目的とし、開発研究としての意義、共同利用への有用性、大学など各機関における研究への寄与等を重視して審査します。平成8年度は、総額2,000万円程度とし、4~5件を採択する予定です。

なお、本研究については、採否を決定するにあたって、ヒアリングを行うことがあるので、ご承知ください。

- 2. 申込資格：国・公・私立大学及び国・公立研究所等の研究者又はこれに準ずる者。(大学院在学中の者は指導教官と連名で申し込んでください)

- 3. 申込方法：所定の様式による申込書1部を提出してください。

なお、研究の内容、経費等については、本天文台の担当教官とあらかじめ打ち合わせてください。

- 4. 申込締切日：平成8年3月29日(金)期限厳守

- 5. 選考：応募研究課題の採否及び経費配分は、国立天文台研究交流委員会で審査し、運営協議委員会の議を経て、台長が決定します。

なお、共同開発研究で研究期間が年度をこえるものについては、申請書にその旨記載のうえ、次年度にあらかじめ新規公募手続に従って申込書を提出してください。

- 6. 採択通知：採否の決定は、平成8年5月(予定)に行われ、結果を各申請者に通知します。

- 7. 所要経費：予算の範囲内において本天文台で支出します。

- 8. 施設等の利用：諸施設の利用については、天文台規則を遵守し、責任者の指示に従ってください。

- 9. 研究報告：研究終了後、30日以内に所定の様式による報告書を1部台長あて提出してください。

なお、提出された報告書は、本天文台の広報誌等に掲載することがあります。

- 10. 申込書提出先及び問合せ先：

〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台管理部庶務課共同利用係

TEL0422-34-3660・3661

上記の他に、国立天文台では現在次のような共同利用公募を行っております。

- * 各観測所の観測装置の共同利用公募
- * 計算機(三鷹・野辺山・水沢)利用を主とする共同研究の公募
- * その他各分野における研究会(野辺山)、共同研究(水沢)の公募

会務案内

「定款改訂」を平成8年総会に議案として提出することについての投票結果

標記の郵送による投票は平成8年1月16日で締め切られ、集計されましたが、結果は下記の通りとなりました。多数の方の投票に感謝するとともに、2月に開催される理事会、並びに3月に開催される評議員会に、総会議案として提出する方向で検討させていただきます。

庶務理事

賛成	389通
反対	10通
保留	1通(投票総数400通)

評議員選挙結果報告

任期 1996 年～2000 年の評議員選挙を評議員選挙施行細則にしたがって、1995 年 12 月 4 日～1996 年 1 月 10 日を投票期間として行いました。1996 年 1 月 11 日に開票作業を行い、以下の結果を得ましたので報告します。

送付投票用紙枚数：1210 (特別会員数)

回答 : 227 名
投票総数 : 2270 票
白票 : 373 票
無効票 : 30 票

上位得票者 (*は現評議員)

池内 了	82	* 祖父江義明	32
半田利弘	62	* 森本雅樹	31
* 杉本大一郎	57	* 田原博人	29
* 古在由秀	46	* 加藤正二	27
* 長谷川哲夫	46	松田卓也	25
* 谷口義明	45	尾崎洋二	23
* 佐藤勝彦	43	羽部朝男	22
今井 裕	35	家 正則	21
古屋 玲	35	小杉健郎	21

* 小山勝二	21	坪井昌人	20
石黒正人	20	野本憲一	20
佐藤文隆	20		

評議員選挙施行細則第 6 条による上位得票者 (*は現評議員)

* 池内 了	82	松田卓也	25
半田利弘	62	尾崎洋二	23
* 杉本大一郎	57	羽部朝男	22
* 古在由秀	46	家 正則	21
* 長谷川哲夫	46	小杉健郎	21
* 谷口義明	45	----- 以上 15 名	
* 佐藤勝彦	43	石黒正人	20
今井 裕	35	佐藤文隆	20
古屋 玲	35	坪井昌人	20
* 祖父江義明	32	野本憲一	20

評議員選挙施行細則については会員名簿を参照してください。

1996 年 1 月 12 日

評議員選挙管理委員

谷川清隆(委員長), 一本 潔, 関口真木, 林 左絵子, 原 弘久

訂正とお詫び

天文月報 1995 年 12 号及び 1996 年 1 号に下記の印刷・校正ミスがありました。著者ならびに読者の皆様にお詫びするとともに、ここに訂正いたします。

・ 1995Vol.88No.12,503 ページ：重なって印刷されたもの。

転太平洋 VLBI 観測網) に 1993 年 7 月から参加しました。水沢 10 m アンテナの位置は、1993 年 7 月の観測から

$$X = -3857236.0270 \pm 0.0110\text{m}$$

$$Y = 3108803.2741 \pm 0.0026\text{m}$$

$$Z = 4003883.1041 \pm 0.0025\text{m}$$

と計算されました。その後、アメリカの相関局の

・ 1995Vol.88No.12,524 ページ：一部印刷が不鮮明。

全く同じものです。一般的に CCD を冷却することとは、意外と曲線で思わぬ落とし穴がある事も知りました。

・ 1996Vol.89No.1,37 ページ：

書評：宇宙のデータブック

誤：比田井昌英・寿岳潤・高瀬文志郎 著

1995 年 5 月 30 日発行

早野竜五・高橋忠幸 訳

東海大学出版会，79 ページ，1,545 円

正：比田井昌英・寿岳潤・高瀬文志郎 著

1995 年 5 月 30 日発行

東海大学出版会，79 ページ，1,545 円

編集委員 関口和寛 (編集長), 末松芳法, 田代 信, 辻本拓司, 中川貴雄, 林 左絵子, 平野尚美, 宮坂正大
平成 8 年 2 月 20 日 発行人 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行 印刷所 〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町 565-12 啓文堂 松本印刷
定価 700 円 (本体 680 円) 発行所 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
電話 (0422) 31-1359, 34-3648 (事務室・月報) 振替口座 00160-1-13595
31-5488, 34-3606 (欧文編集)
31-5487 (FAX 専用)